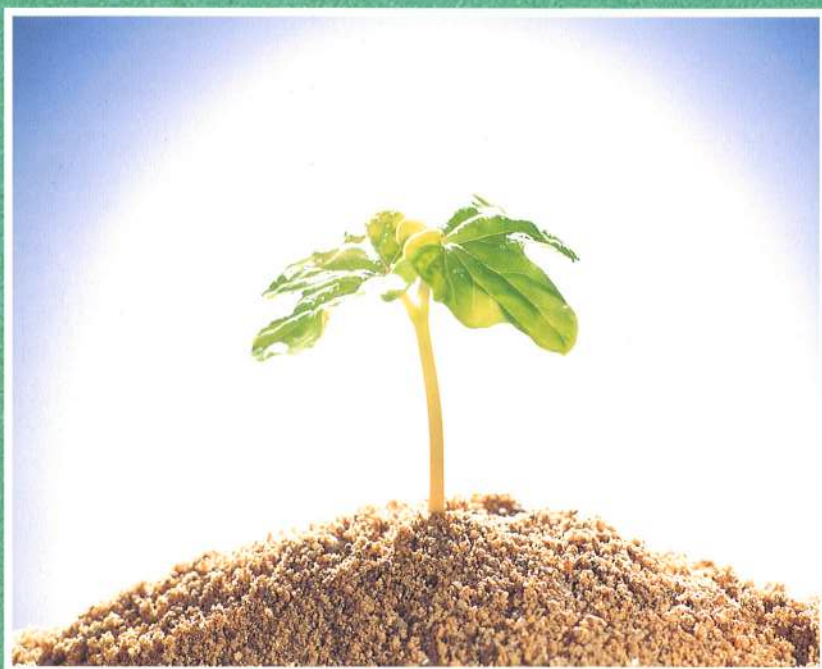


活かそう、緑のリサイクル

---



GRR

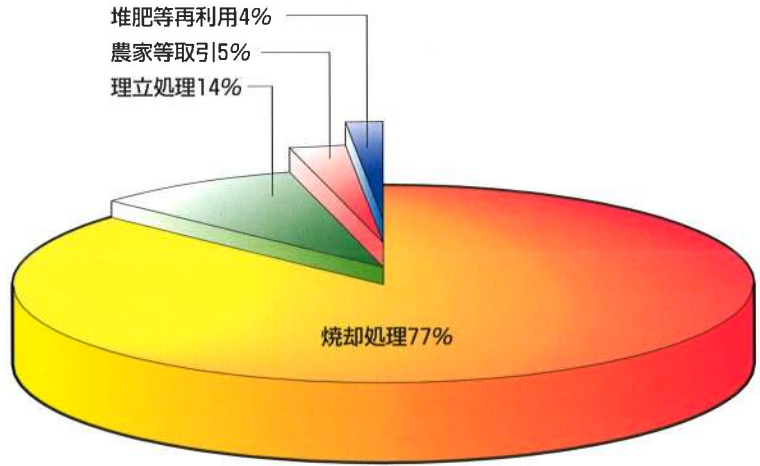
グリーンリサイクル株式会社

# ますます社会問題化するゴミ処理対策。

街路樹等の剪定作業から発生する、大量の剪定枝葉は、現在その大部分がゴミとして処理されています。しかし、年々増大する一方のゴミの量に加え、新設が難しい焼却場の問題などあって、もはや、その処理能力は限界に達しています。

(社)道路緑化保全協会では、緑のリサイクル事業を推進するため、PR用パンフを作成。その中で植物廃材に関して次のように紹介しています。

全国の自治体へのアンケート結果をまとめたもので、「植物廃材を主にどのように処理していますか」と質問したところ、約77%の自治体が焼却処分、約14%が理立処分を行っており、農家等引取が5%、堆肥等として再利用しているのは4%とほんのわずかで、約8割が焼却処分されませんでした。また、「植物廃材として、どのようなものが多く発生しますか」との問には、「刈草」61%、「樹木枝葉」28%、「刈芝」7%、「その他」4%となっています。ちなみに、同パンフによると、ゴミ(一般廃棄物)は昭和60年度まで約12トン/日で推移していたものの、昭和61年度から急速に増加。平成3年度は約14トン/日、5年の間に約15%増加しています。このうち、約7割が焼却処分されているそうです。



(社)道路緑化保全協会が平成7年に行った、全国3235自治体に対するアンケート調査結果

### ■省庁別の環境保全経費

(単位:千円)

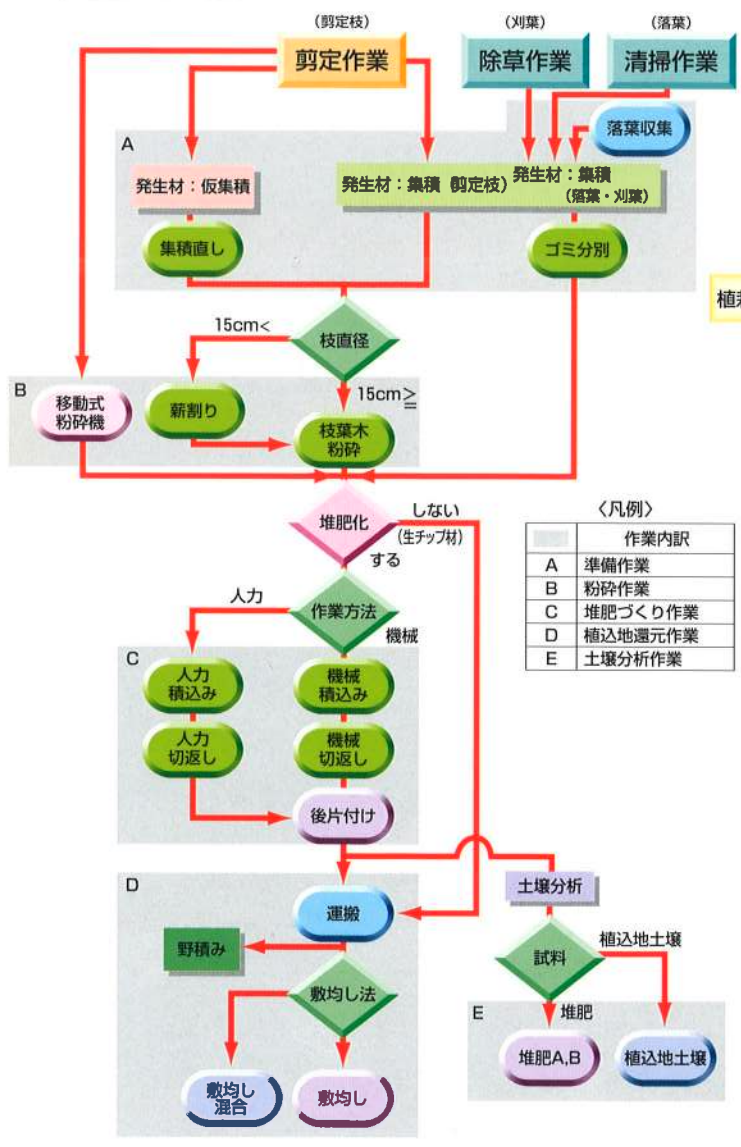
省 庁	平成7年度 当初予算額	平成8年度 予 算 案	比較増△減
環境保全経費	(302,173,878) 2,598,691,325	(294,105,000) 2,744,056,913	(△8,068,878) 145,365,588
総理府	658,972,052	663,672,625	4,700,573
警察庁	413,078	343,164	△68,914
公営等調整委員会	588,488	603,495	15,007
北海道開発庁	85,134,805	92,662,598	7,527,793
防衛施設庁	104,420,742	100,447,653	△3,973,089
経済企画庁	132,162	152,590	20,428
科学技術庁	340,110,750	337,602,298	△2,508,452
環境庁	71,456,159	75,636,344	4,180,185
沖縄開発庁	39,188,519	38,706,611	△481,908
国土庁	17,527,349	17,517,872	△9,477
外務省	3,895,110	3,924,812	29,702
大蔵省	3,763,950	3,764,957	1,007
文部省	64,763,240	70,725,714	5,962,474
厚生省	136,753,999	148,127,795	11,373,796
農林水産省	249,969,739	275,397,719	25,427,980
通商産業省	195,538,845	212,641,766	16,102,921
運輸省	75,181,935	76,830,847	1,648,912
郵政省	1,056,417	1,262,438	206,021
労働省	202,264	186,505	△15,759
建設省	1,207,554,577	1,287,501,574	79,946,997
自治省	39,197	20,161	△19,036



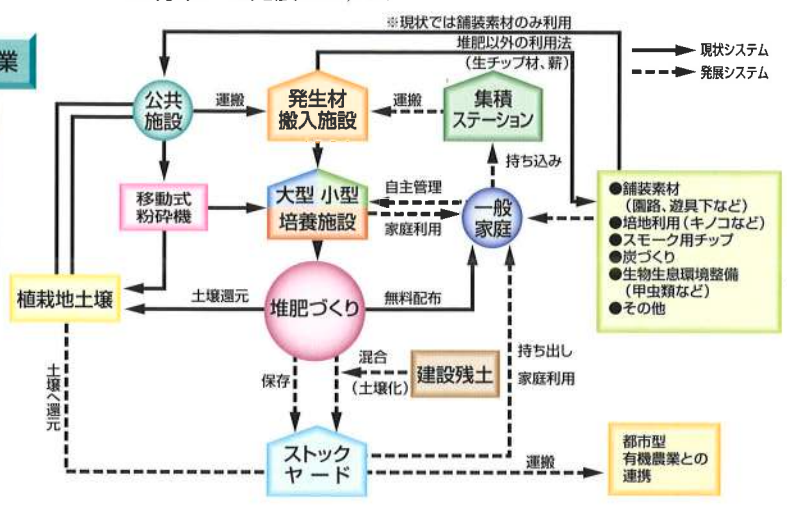
## 自然から受けた恩恵を再び自然に返す。

人間は自然からたくさんの恵みを受けました。しかしそれを消費するだけでは良いはありません。グリーンリサイクルは我々が利用した緑を、環境を汚さずに再び自然に返していく循環システムです。

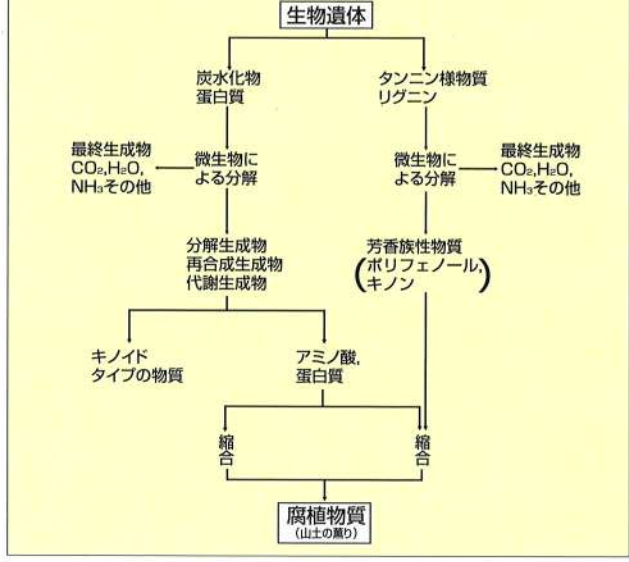
### ■堆肥づくり作業フロー



### ■将来への発展システム

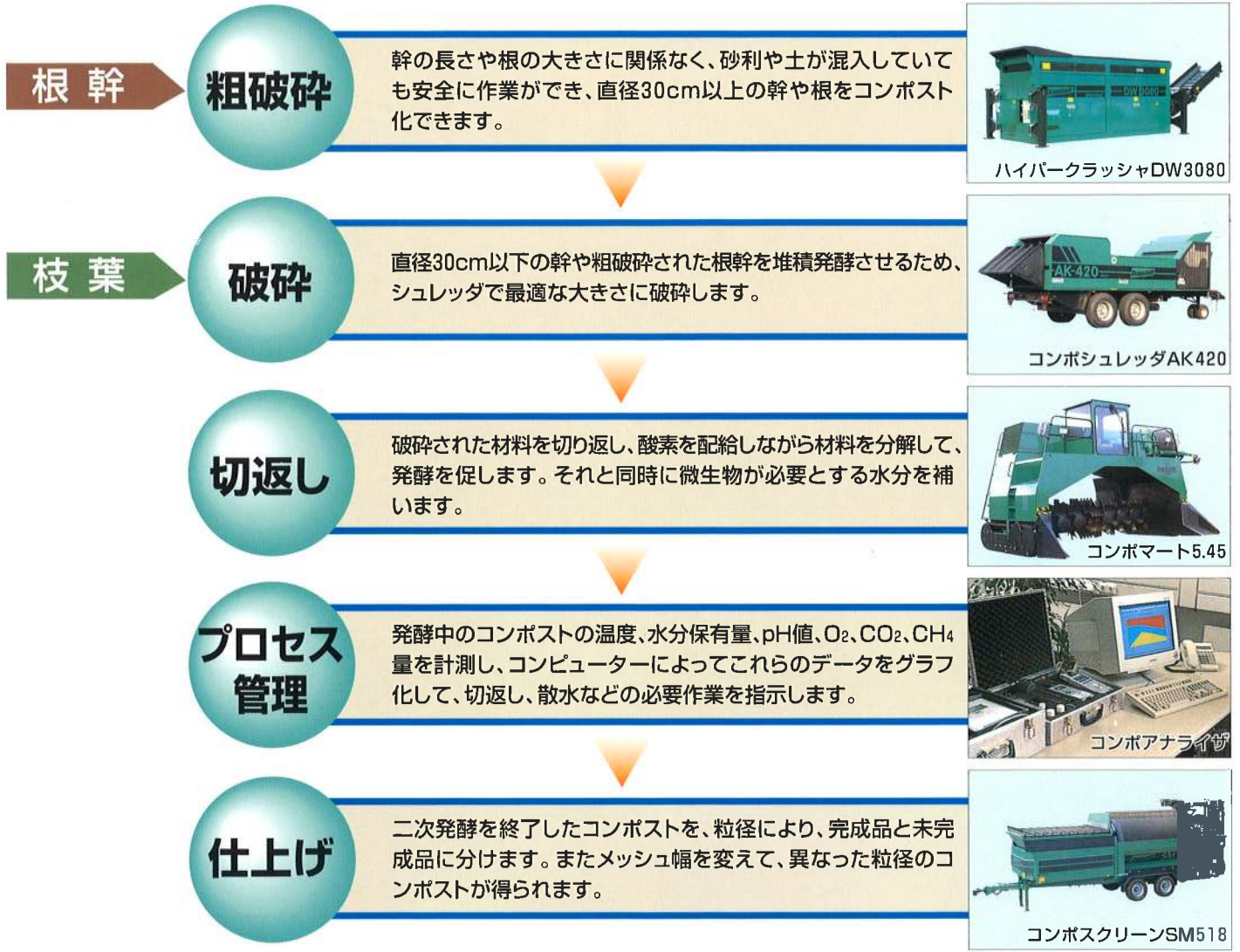


### ■植物遺体の腐植化の経路 (M.M.コノノヴァ女史による)



# コンポサイクリングシステムで大規模処理に対応。

環境問題に対し、先進国の中でもとりわけ進んだ技術を持つドイツの手法を採用。複数の堆肥プラントに対し、定期的に必要機材を巡回させるシステムであるため、プラント稼働に於ける初期経費、及び、運用経費を著しく軽減する事が可能となり、より多くの地域、更に多くの方々に、資源の有効利用を図って頂けるようになりました。



# 剪定枝のチップ化を更に簡便に、効率よく——。

当社では緑のリサイクル実現のための長年にわたる研究の成果として、低価格の車載式粉碎機を独自に開発しました。剪定後の残枝を、その場で粉碎、連続積載する事により、作業性の向上、運搬費用の低減、人件費の削減に大きく貢献する等、各方面から高い評価を受けています。「より多くの人々に緑のリサイクルを——。」当社のこの願いは、こんなところにも生かされているのです。

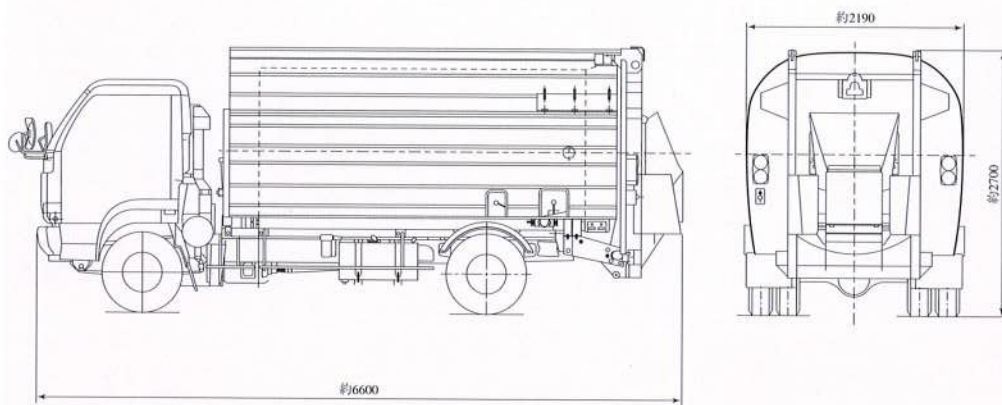


▲投入中



▲排出中

### ■チップングロータリープレス概略図



※上記仕様はさらに改良を加えるため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

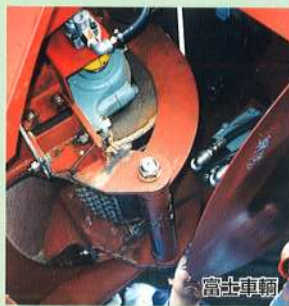
### ■車両主要仕様 (4tシャシー架装)

全長	約6600mm
全幅	約2190mm
全高	約2700mm
荷箱容量	7.5m <sup>3</sup>
最大積載量	1800~2000Kg
投入地上高	約1050mm
ドラム回転数	約7rpm

### ■粉碎機仕様

ローター寸法	φ320mm×L500mm
歯数	2枚×2ヶ所
幅	500mm
ローター回転数	最高1300rpm

※2tトラックもラインアップ。



# 緑のリサイクル事業を総合的にサポート。

現状の調査から完成コンポストの利用方法まで、緑のリサイクルは多岐にわたるノウハウを必要とする事業です。グリーンリサイクルは様々な条件に対応し、緑のリサイクル事業を総合的にお手伝いします。

### 現状の調査、分析

植栽状況、廃材発生量、コンポスト需要から、地理的条件、気象条件、道路整備状況等についての調査を行い分析します。

### 基本計画の策定

収集エリア、施設適地、年間処理量、配置計画及び堆肥利用、販売計画等を含む基本計画を策定します。

### 施設計画の策定

施設建設のための設計、機械装置計画等を策定し、また試験・実証のお手伝いをします。

### 運営計画の策定

廃材の収集・運搬計画、人員計画、作業計画、管理計画、利用（販売）計画等を含む運営計画を策定します。

### 機械・装置の納入

破砕機、すき返し機、ふるい機、プロセス管理装置等、必要機械・装置の販売、納入いたします。

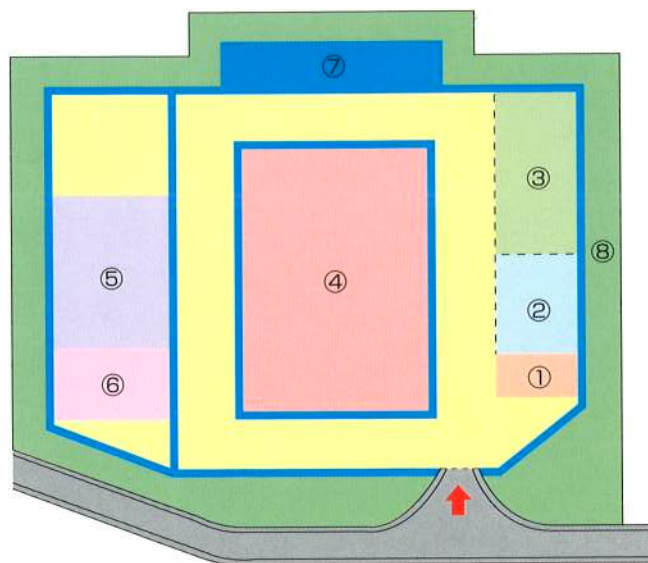
### 機械のアフターサービス

納入いたしました機械装置等のメンテナンスは、グリーンリサイクルが責任をもって行います。

### プラント運営のサポート

堆肥化技術の指導等、実際の運営管理のフォローはもちろん、別途有効利用の開発等、将来に向けた幅広いサポートをお約束します。

■堆肥化プラント配置図（一例）



- ①受入管理棟
- ②廃材仮置ヤード
- ③破砕ヤード
- ④発酵ヤード
- ⑤完成品貯蔵庫
- ⑥機械格納庫
- ⑦浸出液貯留槽（循環再利用）
- ⑧緩衝緑地

